

## <議事要旨>

### 【座長】

ただいまから第2回議会のICT化及び情報公開検討部会を開会する。

はじめに、署名委員を指名する。山田貴之委員、さかまき常行委員以上二人に  
願います。

議題1『ペーパーレス化導入環境の検討について』を議題とする。

### 【事務局次長】

(資料1により説明)

### 【座長】

はじめに、項目1タブレット端末の機種を検討する。

座長案として、iPadPro12.9インチまたはiPadAir10.5インチを提案する。

iPadPro12.9については、A4サイズで紙と同じ大きさで扱える利点がある。  
iPadAir10.5については、使い勝手がよく、値段もiPadPro12.9に比べて安価で  
ある。

iPadPro12.9のメリットとして2画面という点があるが、「SideBooks」を導  
入した場合には、「SideBooks」自体が元々2画面分割のできるアプリのため、  
iPadPro12.9のメリットは画面の大きさだけでも感じるが、委員の意見を伺い  
たい。

### 【委員の意見等】

実際の機種を見て判断したい。

### 【事務局次長】

令和2年1月14日(火)に実機デモがあるので、そこで実際の操作が可能で  
ある。

### 【委員の意見等】

ApplePencilや使い心地からiPadProがよい。

### 【委員の意見等】

iPadを選択することに異論はないが、部会以外の議員にも触れられる機会を  
設けてほしい。

### 【事務局次長】

台数に限りがあるので、1人1台の操作は難しいかもしれないが、1月14日  
の実機デモに参加いただくことは可能であるので、全議員に周知を行っていく。

**【座長】**

価格が、iPadAirはiPadProに比べて約半額であること、また、現実的な利用方法を踏まえ、再度検討していただき、1月22日の部会において結論を出していきたい。

次に、項目2タブレット端末の調達方法を検討する。

購入、レンタル、各自調達とあるが、座長案として、レンタル契約を提案する。

今期検討し、来年度予算などを要求し、現実的に導入できるのが令和3年度になることに鑑みると、実際今の任期、今のメンバで一使用できるのが2年間になる。ということ踏まえてぎろんしていただきたいと存じる。

**【委員の意見等】**

レンタルの短所として備品返却等が厳しいとあるがどうということか。

**【事務局次長】**

タブレット以外の細かい備品等も出てくると思うので、それらを同じタイミングですべて返却させることは厳しいと考える。

**【委員の意見等】**

座長案のレンタルに賛成である。タブレットなどは毎年のようにどんどん新しいものが出てくるので、レンタルすることで一定の料金で新しい機器を使用出来ることはメリットである。

**【委員の意見等】**

4年の任期の中で使い切ると考えると、購入した方が圧倒的に安いのではないかと考える。端末は議会費として購入するものだと思うので、落選すれば返却するし、任期が続くのであればそれを所有し続けて使っていけば良いと考える。

**【委員の意見等】**

使用していく中で紛失や故障などは絶対あるだろう。その場合は、購入よりもレンタルの方がサポートなども手厚いと思うので、費用がかかったとしても安心して使用することが出来ると思う。

**【委員の意見等】**

購入しても保険などはある。議会が購入した場合はどのような取扱いになるのか。すべて自己責任にはならないと考える。ただし、レンタルの方が機種交換が出来たりとか手厚い補償が受けられるだろう。

**【委員の意見等】**

今までの議論を踏まえ、令和3年から2年はリースで、その後改選を迎えてからは他区の状況とかを見て購入を含めより良い方法を検討するのはいかがか。

**【委員の意見等】**

レンタルは契約期間が2年とか4年とかあると思うが、期間によって金額が変わるのか。変わるようであれば、そこも調査が必要だろう。

**【委員の意見等】**

この項目も保留にしたうえで、①購入した場合の故障などの保険はどのようになるのか。②レンタルの期間によって金額は違うのか。調査してもらい、次回に臨みたい。

**【事務局次長】**

業者に見積もりを取って次回までに提示する。

**【座長】**

次に、項目3のタブレット端末の通信方法とWi-Fi環境の整備について検討する。①Wi-Fiを導入するか、②Wi-Fiは導入せずWi-Fi+Cellularモデルにするのか。

座長案としては、災害時などを含め常に役所にいないことや、外出先でも使用可能であること、また値段も差ほど変わらないことを踏まえ、Wi-Fi環境は各党派で整備し、その代わりにWi-Fi+Cellularモデルの導入を提案する。それを踏まえた上でご意見をいただきたい。

**【委員の意見等】**

Wi-Fi環境がない状態では通信料が変わってくるのでは。調査する必要がある。

**【委員の意見等】**

Wi-Fi環境の整備をしなければ、環境整備はかからないため経費を抑えられる。座長案でよいのでは。

**【委員の意見等】**

環境整備には初期経費で値段はかかるが、前提としてここまで値段が張るとは考えられない。一度設置すればランニングコストのみなので、委員会室・本会議室などへはWi-Fi環境を整備すべきでは。

**【座長】**

現状では、委員会室・本会議場には持ち込みができないルールとなっている。委員会室・本会議場でのタブレット利用については、第4回以降に決める話となるため、後日の検討課題とする。

**【事務局次長】**

通信料、Wi-Fi環境整備などについては、再度見積りをとらせていただくが、3年前の見積りでもやはり300万近くかかることとなっている。

**【座長】**

皆さんに同意いただければ、Wi-Fi+Cellularモデルの導入は決定し、Wi-Fi環境については見積りを確認することによろしいか。

**【各委員】**

異議なし

**【座長】**

次に、検討項目4 付属品のタッチペン、タブレットカバーについて検討する。

**【委員の意見等】**

付属品は、本体が購入の場合は購入、レンタルの場合はレンタルとなるのか。

**【座長】**

ご指摘のとおりである。

**【委員の意見等】**

議会と理事者とで同じタブレットやタッチペンの機種を使用するのか。

**【事務局次長】**

同じものを使用することが望ましいが、現時点では議会の使用のみ想定している。

**【委員の意見等】**

タッチペンのレンタル、購入費用の見積もりを知りたい。

画面を覆えるブックタイプのカバーでなければ、落とした際の画面の保護フィルムが必要では。

**【事務局次長】**

費用、カバーの種類については未定。見積もりを取る。

**【委員の意見等】**

故意でなくても、使用中に破損した場合の議員の負担はどうか。

タッチペンは使用する議員のみつけければいいのでは。

**【事務局次長】**

リースの場合は機器が故障しても交換は可能。  
タッチペン等については次回までに見積もり額などを提示するため、その中で決定願う。

**【委員の意見等】**

タッチペンとカバーは全員統一で用意したほうがよい。  
タッチペンは SideBooks のメモ機能により使用頻度が高いと思われる。

**【座長】**

フィルムは消耗品のため各自で用意したほうがよい。

**【委員の意見等】**

カバーが用意された場合でも、それを使用せず、自分で購入したものを使用してもよいのか。カバーは使用者の好みによるため。自分はカバーがあっても使用しない。そのため、カバーではなく保護フィルムを用意すべき。

**【事務局次長】**

今後使用基準や使用のルールを定めるため、その場で検討願う。

**【座長】**

タブレットに初めて触る議員もいる。あくまでも議会からの貸与となるため、各自使用しやすい付属品を使うことも構わないが、常識の範囲内で対応願う。  
タッチペンとカバーを用意することでよろしいか。  
フィルムはいくらくらいになるか。

**【委員からの意見等】**

フィルムは画面が割れないように貼っている。あまり安すぎるものでは意味がない。

**【委員からの意見等】**

割れた際に本体の交換対応が可能であれば、フィルムは不要では。

**【座長】**

座長案として、初めにフィルムを用意することを要望する。その後の買い足しについては各自対応することでよろしいか。

**【委員の意見等】**

タッチペンのペン先も、同様にしたほうがよい。  
メモ機能でたくさん書いた場合、ペン先は1年程度でだめになることもある。

**【委員の意見等】**

消耗品については各自買い足すことで構わないと思う。

**【事務局次長】**

リースの場合付属品も交換可能か、確認する。

**【座長】**

タッチペンとカバーはそれぞれ用意する。フィルムも初めの1枚を用意することを要望することとする。

次に、項目5ペーパーレス会議システム（文書共有システム）について検討する。

1月14日にデモ機を触ってからの判断になるが、方向性だけは決めたい。サイドボックスが23区でほぼ実績があり、モアノートがゼロ。モアノートのPRポイントとしてオフラインモードがあるが、サイドボックスにも同機能はありそう。

**【委員の意見等】**

サイドボックスとモアノートのオフラインモードの違いはストリーミング型とダウンロード型ということではないか。

**【座長】**

ユーザー側にとっては些末な違いである。私がサイドボックスを提案した理由は、モアノートは全て含まれたソフトであり、画面の同期機能があるのでプレゼンの資料として使われている側面が強いのではと思った。サイドボックスはカレンダー機能やオフィス機能を別途入れているという側面が強いので、モアノートのように全て一括で入れるのではなく、サイドボックスと他の純正のアプリを取り入れた方が、拡張できるので使い勝手が良いと思う。同意いただければ、デモ機を触った後に決定ということによいか。

**【委員の意見等】**

同意。

**【座長】**

次に、項目6その他のシステム・アプリについて検討する。必要最小限のものとしてLINE WORKSとMicrosoft Office365を挙げているが、追加するかどうか、各個人でアプリを入れていいかどうかは第4回以降で議論するので、今回は基本的に何を入れるかを議題とする。他に必須のアプリはあるか。

**【委員の意見等】**

PDFリーダーは当然入っているという認識によいか。

**【座長】**

サイドボックスの機能として入っているのでは。何かしらの形で PDF を読み込めばサイドボックスで見られる形になると思う。

了解いただければ、LINE WORKS と Microsoft Office365 を導入し、その他に必須のものが出てくれば順次入れていけばよいので、基本的にはこの2つに絞ることとする。特段意見がないようなので、座長案としてまとめる。各会派での周知徹底をお願いします。

以上で、第2回検討会を閉会する。